

災害時に
おける

社会資源としての 社会福祉施設のありかた研修 ～BCPへの反映を考える～

自然災害がいつ起こるかわからない今、社会福祉施設は利用者の命と生活を守るために、日頃から備えをしておくことが大切です。本研修では、平時の社会福祉施設と地域とのあり方を振り返りながら、発災時における社会資源としての社会福祉施設の役割について理解を深めることを目的としています。また、DWATを含めた外部からの応援を受け入れる「受援力」に焦点を当て、社会福祉施設における「支援を受け入れる力(受援力)」とは何か、社会福祉施設の「受援力」とはどのようなものか、BCPにどのように盛り込めばよいのか、について学びます。

申込
締切

令和8年1月28日(水)
17:00

詳細はこちら
府社協HPへ飛びます



対象

社会福祉施設職員・市町村社会福祉協議会職員
全階層向け

日にち 令和8年2月13日(金)

会場 オンライン(zoom)

時間 12:30(受付開始)～16:30

定員 40名

受講料 受講生1名につき1,000円(非課税)

お問い合わせ

京都府社会福祉協議会 京都府福祉人材・研修センター 研修課
〒604-0874 京都市中京区竹屋町通烏丸東入清水町375
ハートピア京都地下1階
mail:kenshu@kyoshakyo.or.jp
TEL: 075-252-6296 / FAX: 075-252-6312